

# 子ども達に小樽のこと聞きました ～小樽商工会議所青年部アンケート～



表2 小樽市児童数(特別支援学級含)の推移 (単位:人)

	2003年 (20年前)	2021年	2022年	2023年
小学校	6,634	3,947	3,850	3,684
中学校	3,610	2,211	2,167	2,142

小樽市より(各年5月1日)

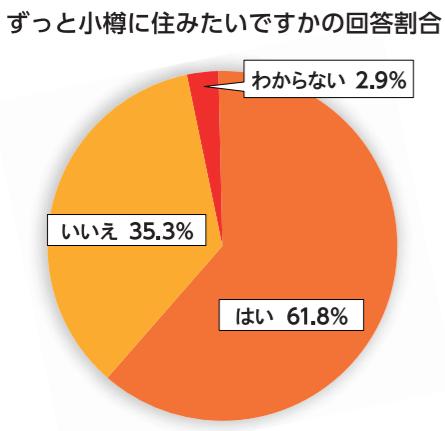
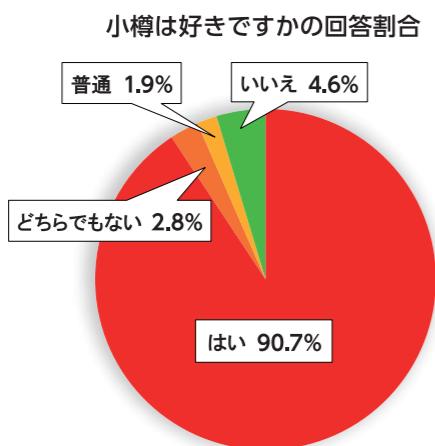
少子化が進み(表2)、最近は、街中で子供達を見かけることが少なくなります。そこで小樽商工会議所青年部では、人口減少対策を念頭に置いて、市内の小学4年生から中学2年生までの約3,400人に「小樽」をどう見ていいのか、自分達の将来についてアンケート調査を実施しました。

Q. 小樽は好きですか?

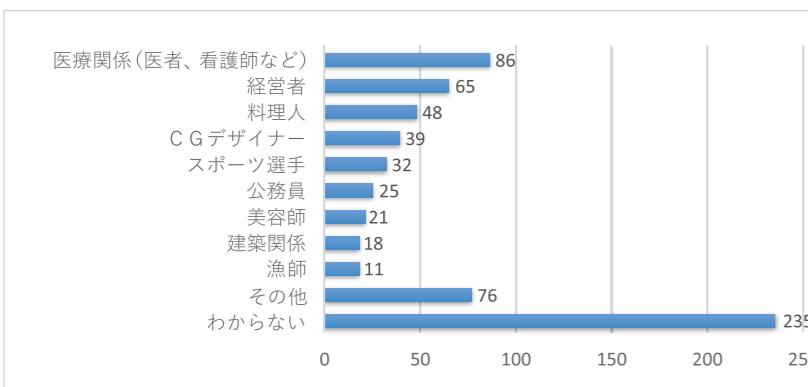
「小樽が好き」と答えた人は、約91%の624人で、その理由は、「海や山などの自然が多い。人がやさしくて居心地が良い。お祭りやイベントが多く楽しい」などの回答が多くつた一方、「遊ぶところがない。空き家が多い。札幌に比べて有名店がない」など、特に店名が広く知られているお店の小樽出店に期待する答えが多くありました。

Q. ずっと小樽に住みたいですか?

「ずっと小樽に住みたい」と答えた人は約62%の425人でした。前の設問で、「小樽が好き」と



小樽でどんな仕事がしたいですか(回答数656人)



Q. 小樽でどんな仕事がしたいですか?

様々な希望職種が挙げられました。特に看護師や漁師と回答した人は、親の姿を見て同じ仕事を就きたいというものでした。「わからない」と回答したのは235人で、多くは小樽にどんな会社があるのか知らないという理由のようです。

Q. 子育て世代が減っている

小樽市の人口は、昭和39年の20万7,093人をピークに産業構造の変化、他都市への転出、少子高齢化の進展等により減少が続き、令和4年3月末には11万人を割り込みました。  
総人口の割合では、年少人口(0～14歳)と生産年齢人口(15～64歳)と連する人口は直近の令和5年9月末で2万7,582人と20年前と比べると、ほぼ半数にまで減っています。

表1 20歳～49歳の人口推移 (単位:人)

	2003年 (20年前)	2021年	2022年	2023年
男	23,787	14,546	14,212	13,731
女	25,826	15,022	14,432	13,851
計	49,613	29,568	28,644	27,582

小樽市HPより抜粋(各年9月末)

令和2年から猛威を振るった新型コロナウイルスが、本年5月から第5類感染症に移行され、国内外から多くの観光客が小樽に訪れるようになり、特に外国人観光客の姿を見かけることが増えてきました。観光客が戻り、交流人口はこれから増加していくことが期待される一方、定住人口は毎年2,000人前後の減少が続いています。当所では、小樽市と連携して定住人口の減少を抑制し、創業と移住者を増やすため、「おたる移住・起業ひと旗サポートセンター」を本年2月に開設し、移住に伴い当所会員企業へ就職先を紹介、さらに創業支援に取り組んでいます。これまでに、16件25人が小樽に移住しています。

歳)が道内主要都市の中でも低く、働く世代が減り続けるという極めて厳しい状況になっています。また、子育て世代(表1)に関する人口も同様の傾向にあります。連する人口は直近の令和5年9月末で2万7,582人と20年前と比べると、ほぼ半数にまで減っています。